

秋篠の会だより



平成29年度 活動報告

- ◆ 総会（平成29年5月24日）
- ◆ 役員会（10回）
- ◆ 健康管理促進事業への協力（述べ19名）
- ◆ 特定健診の適正受診促進事業への協力（延べ10回）
- ◆ 奈良県保健所及び市町村新任保健師育成支援事業への協力（4名）
- ◆ 研修会開催（1回）
- ◆ 各種研修会に参加
- ◆ 平成29年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会に出席
- ◆ 会報発行

平成29年度 総会

開催日：平成29年5月24日（水）10：00～12：30

開催場所：市町村会館7階会議室

出席者：奈良県在宅保健師の会会員8名

委任状：30名

総会に先立ち、奈良県国民健康保険
団体連合会 事務局長 片岡眞里子様
よりご挨拶を頂きました。

協議事項

1. 平成28年度事業報告
2. 平成29年度事業計画

《ねらい》

急速な高齢化が進む我が国において、健康寿命を延伸していくためには、高血圧症・糖尿病・脂質異常症等の生活習慣病の予防対策や介護予防が急務である。そこで、地域の人が自らの健康を守り自立した生活が送れるように支援すると共に、会員の資質向上、連合会保健事業に協力することを目的とする。

《内容》

- 1) 総会
 - 2) 役員会の開催
 - 3) 研修会
 - ①在宅保健師の会独自研修会開催
 - ②その他の研修会に参加
 - 4) 地域での健康相談
 - 5) 国保連合会事業への協力支援活動
 - ①健康管理促進事業
 - ②特定健診の適正受診促進事業
 - 6) 新任保健師育成事業（奈良県事業）への協力
 - 7) 広報誌発行
 - 8) 在宅保健師関連会議へ出席
平成30年1月下旬（東京で開催予定）「都道府県在宅保健師等全国連絡会」
 - 9) その他
3. 会員の活動状況調査結果
 4. 役員の変更（平成29年度役員）
岡本安代（会長）、来田正子（副会長）、堀みさ子（幹事）、山本満由美（新規幹事）

交流会の開催

総会終了後、交流会を実施しました。



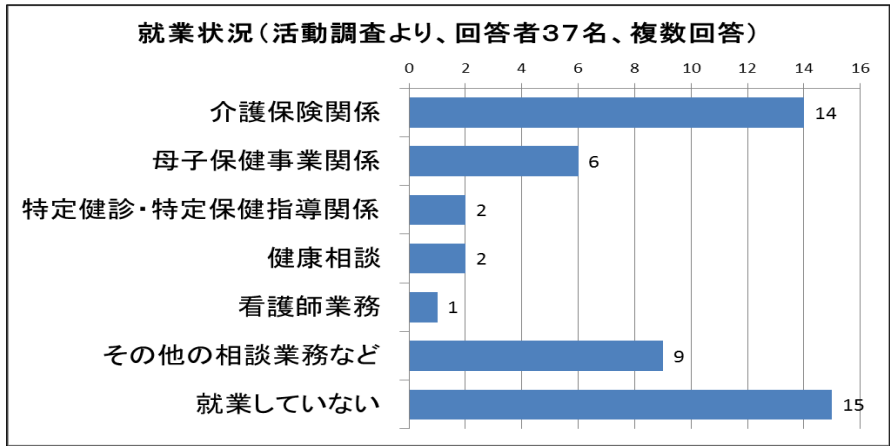
《平成29年度役員》



平成29年度 会員の活動状況

会員数：54名（平成30年3月末）新規入会者が2名ありました。

年代	人数	割合
30歳代	1	1.9%
40歳代	1	1.9%
50歳代	6	11.1%
60歳代	31	57.4%
70歳代	12	22.2%
80歳代	1	1.9%
90歳代	1	1.9%
100歳代	1	1.9%
合計	54	100.0%



国保連合会事業への協力支援活動

保険者が行う保健事業が円滑に実施できるようにするための、国保連合会事業への支援協力活動です。

1. 健康管理促進事業への協力

集団の特定健診及び健康づくり推進のためのイベントにおいて、本会会員により健康相談等への支援を行いました。

市町村	回数	担当 延べ人数
川西町	3	3
三宅町	3	3
御所市	2	3
山添村	3	3
広陵町	1	2
宇陀市	1	1
香芝市	1	2
東吉野村	2	2
合計	16	19



《広陵町での様子》



《東吉野村での様子》

2. 特定健診の適正受診促進事業への協力

特定健診の実施率向上を図るため、特定健診未受診者に対し、本会会員により電話での受診勧奨を実施し、未受診理由等を聞き取りしました。

- 川西町 1回3時間、実人数3名、
延べ10回協力



奈良県保健所及び市町村新任保健師育成支援事業への協力

この事業は、奈良県の保健所及び市町村（奈良市を除く）の新任保健師（採用2年目まで）に、経験豊富な保健師が育成・支援します。支援する保健師を「トレーナー保健師」と称し、家庭訪問等について直接支援を行います。保健師の専門能力の向上を図ることにより、県全体の地域保健活動を活性化することが目的です。家庭訪問に同行し、訪問の導入方法や面接技法、適切な訪問指導とその評価等の一連の活動について支援しました。

実施状況

1. 会議

- 説明会 平成29年 6月 9日（金） 橿原総合庁舎
- 市町村連絡会議 平成29年 9月19日（日） 吉野保健所
平成29年11月24日（金） 郡山保健所
- 合同会議 平成29年 9月21日（木） 橿原総合庁舎
- 評価会議 平成30年 1月15日（月） 奈良県社会福祉総合センター

2. 家庭訪問

- 生駒市① 7件（母子7件） ●生駒市② 7件（母子7件）
- 安堵町 7件（成人・高齢者6件、まとめ1件） ●黒滝村 2件（母子2件）

考察評価

昨年度のモデル事業を受けて、今年度は本格実施されました。対象は生駒市、安堵町、黒滝村で、4人の新任保健師に当会会員4名がトレーナー保健師として担当しました。昨年度のモデル事業での経験を踏まえ、今年度はスムーズに導入でき、市町村とのコミュニケーションも良く、成果を上げることができました。

新任保健師からは、「対象を深く理解するためには対象から情報を得るだけでなく、家の佇まいや環境、服装などあらゆる部分を見て全体像を把握しようとする姿勢が大切であると学んだ」「訪問にも根拠があることを念頭に置いて行うことを助言頂き、法的根拠についても確認しなおす機会となった」「訪問対象だけを看るのではなく対象の家族も丸ごと看ることが地域課題の表出につながると学んだ」などの意見がでました。

またトレーナー保健師からも「支援をしていく中で、新任者の成長が感じられた」「必要とされていることを実感できた」「保健師の役割を改めて考える機会となった」等の意見が出され、新任者や市町村に感謝されることに加え、担当保健師の達成感や、やりがい感に繋がっていることが確認できました。この事業は担当する会員にとって自分の経験や知識を十分発揮でき、自己実現の場にもなっています。

来年度も引き続き事業に取り組む予定です。会員皆様の積極的な参加をお待ちしています。



《生駒市での様子》



《生駒市での様子》



《評価会議の様子》



研修会「奈良県の子育て支援の現状と課題と今後の方向」～施策を中心に～

講師 奈良県健康福祉部こども・女性局女性活躍推進課 課長 金剛 真紀 氏

開催日：平成29年12月1日（金）10時～11時30分
 開催場所：奈良県市町村会館 7階 会議室
 参加人数：12名



講師プロフィール

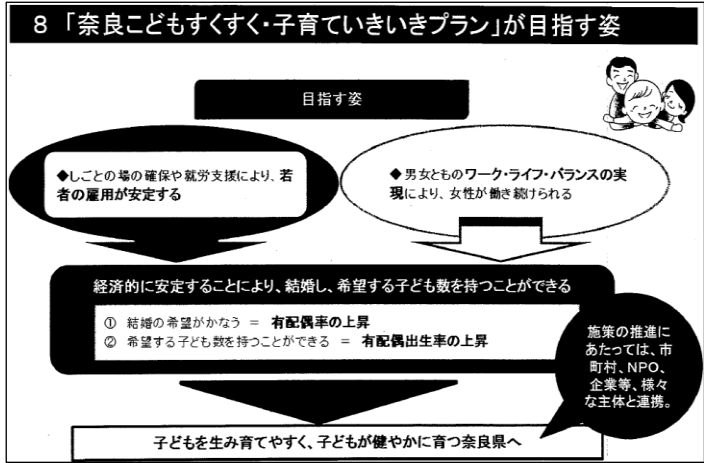
- ・昭和55年奈良県入庁、広報や国際交流等のほか、主に子どもや女性に関する施策を担当
- ・平成23～27年度まで、子育て支援課勤務（少子化対策、保育、放課後児童対策担当）この間、県の少子化対策・子育て支援計画「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」策定を担当
- ・平成28年度から女性活躍推進課勤務（少子化対策、男女共同参画、女性就労支援担当）

講演要旨

奈良県の将来推計人口は少子化による人口減少で2024年には約109万人になり老年人口は41万人で約4割が65歳以上の高齢者になると予測されている。
 少子化の要因として若者世代の未婚率の上昇、晩婚化、晩産化があげられており少子化の改善策が課題となっている。

その取り組みとして平成27年3月に「奈良こどもすくすく、子育ていきいきプラン」を策定し、子どもを生み育てやすく、子どもが健やかに育つ奈良県を目指して、具体的な目標設定を立て行動計画を推進しているところである。また施策の推進にあたっては市町村、NPO、企業等様々な主体と連携し取り組んでいる事等を説明していただいた。

講演の最後にはプランの中間見直しのため子育て世代の人々から計画に対する意見をどのようにしてすいあげればいいのか先輩保健師の意見を求められた。



《金剛氏資料より抜粋》

受講者の感想

奈良県の子育て支援の現状は、全国の中できびしい状況であるのだと再認識しました。まず、少子化対策の取組から、生活環境、人生観、経済面に至るまでのデータを含めた実態を知り、地域で私に子育て支援の何ができるかな、と思いました。
 ボランティアで何かしたいと思われました。

各種研修会へ参加

- 奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会医療部会研究集会：6名参加
- 奈良県保険者協議会研修会：3名参加
- 奈良県後期高齢者医療保健事業担当者研修会：1名参加
- 奈良県市町村看護職協議会全体研修会：7名参加



平成29年度 都道府県在宅保健師等会全国連絡会

日時：平成30年2月2日（金）10時～16時

主催：国民健康保険中央会

場所：ビジョンセンター永田町

出席：秋篠の会会長岡本安代、事務局吉村由己子、参加81名

●主催者挨拶 国民健康保険中央会 理事長 原 勝則 氏



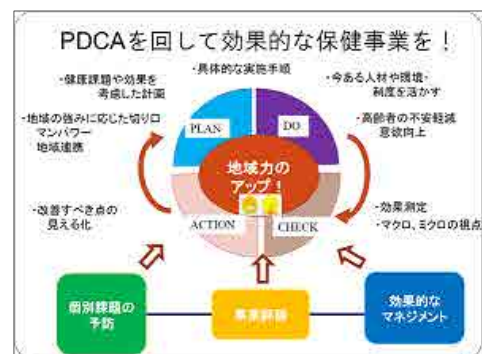
4月から都道府県が参加しての新しい国保事業が始まることで在宅保健師会の活動への影響を懸念する声が出ているが、地域での保健事業は今まで通り市町村が担うので大きな枠組みは変わらない。今般の改正は在宅保健師への期待が高まり、在宅保健師の活動を抑制するものではない。島根県在宅保健師の会「ぼたんの会」が保健文化賞を受賞した。

●在宅保健師等会全国連絡会会長挨拶 島根県ぼたんの会 会長 木村 久美子 氏

●説明「保健事業を取り巻く国の動き」 国民健康保険中央会 常務理事 飯山 幸雄氏

●講演「保健事業は今！！第3期特定健診特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防・高齢者の保健事業（フレイル）」 あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代 氏

	これまでの健診・保健指導	これからの健診保健指導
健診と保健指導	健診に付加した保健指導	(MetS予防のための)保健指導対象者を抽出するための健診
目的	個別疾患の早期発見・早期治療	MetSに着目した早期介入・行動変容
内容	健診結果の伝達、理想的な生活習慣の情報提供	自己選択と行動変容
保健指導の対象者	「要指導」のうち、保健事業に参加したもの	必要度に応じ階層化された保健指導
方法	一時点の健診結果に基づく、画一的な指導	健診結果の経年変化や将来予測も踏まえた保健指導集団の健康課題の分析 ライフスタイルを考慮
評価	実施回数・参加人数	介入の効果、糖尿病患者・予備群の減少



《津下氏資料より抜粋》

●説明「都道府県在宅保健師等会に係る調査結果について」

国民健康保険中央会 保健師 成瀬沙弥華 氏

●事例発表

事例1 「特定健診等受診勧奨事業の取り組みについて」

富山県在宅保健師「らいちょう会」 会長 吉井 富美子 氏

特定健診未受診者、特定保健指導対象者に電話により受診勧奨を行う。実施主体は市町村、在宅保健師会、国保連合会の3者である。実施に当たっては受診勧奨マニュアル、記録表を作成した。

事例2 「保健補導員への支援について」

長野県在宅看護職「信濃の会」 会長 矢口 洋子 氏

保健補導員の成り立ちは一保健師の家庭訪問活動から村内の主婦が自主的にお手伝いしたことから始まった。昭和20年に組織活動として保健補導員が誕生した。平成29年保健補導員数は10,626人である。県予算は、13,938,513円（平成30年度）在宅保健師の会では市町村支援事業の一つとして保健補導員の育成を行っている。主な支援は講演会、地区や地域での保健補導員研究大会での研究発表の助言や講評。

●グループ討議「これからの保健師等会の活動のあり方について」

在宅保健師等会のグループと事務局のグループに分かれ、活動の現状、課題、悩みなどについて話し合い発表を行った。＊会議の詳細、資料については国民健康保険中央会のホームページをご覧ください。 <https://www.kokuho.or.jp/hoken/public/hokenmeeting.html>

元気ハツラツ 頑張っています！！

在宅保健師 木村博子さんをお訪ねして



木村さんは、平成26年5月から平成29年4月まで秋篠の会会長を務められました。秋篠の会での活躍はもちろん、地域活動や趣味等多才に活動されている木村さん（大和高田市在住・69歳）にお話を伺いました。

☆お忙しいと思いますが、最近はどう過ごされておられますか

民生児童委員をしています。地域の人からいろいろな相談を受けますが、例えば介護保険の相談では、地域包括支援センターや地区の集まり等を紹介したり、主治医への伝え方を共に検討したり、子育て訪問では子どもの発育やお母さんの表情や

育児環境をみたり、健診の日程を伝えたりしています。仕事の経験が役に立っています。保健師の仕事柄培われてきたものと育てて頂いた方々に感謝しています。

また、市の男女共同参画推進協議会の運営委員をしています。県の女性施策や情報をもとに仕事柄身についてジェンダー的意識を地域に還元できるよう努めています。

その他、老人会の校区の女性部長をしています。高齢者が生き生きできればいいと思っています。作品展へは、単に手芸作品作りに取り組むだけではなく、誤嚥性肺炎の予防や経口補水液のことで、健康づくりも取り入れ皆で楽しくやっています。保健師のスキルが基本にあるからできると思います。

☆活動をする上で大事にしていることは

人間観を持つこと。人間愛といったほうがいいかもしれません。どう生きたいかを持っていることが大事だと思います。相手の方の生き方も尊重して向き合っていきたいです。人と接するのが好きです。

☆在職中に心に残るエピソードはありますか

主婦の期間もありましたが、保健所に33年間勤めました。辞めたいと思ったことはありません。就職し初めての担当地区が十津川村で印象深いです。在職期間の半分は内吉野保健所でしたので、先輩保健師から季節の行事や所作、人との機微といったようなことを教わりました。

☆ご趣味を教えてください

短歌や俳句、日本画ですが、最近は短歌教室を月1回、会員は10人程です。俳句は現役当時から句会等に参加しています。

☆後輩に伝えたいことは

今を一生懸命に取り組むこと それは必ず後になったら生きてきます。

退職して終わりではありません。生涯現役！！

●お話を伺って、お住まいの地域で忙しいほどにいろいろな役をされ、本当に「人が好き」ということが伝わってきました。趣味も多才で、短歌では、奈良少年院を見学して詠んだ短歌が新聞の投稿欄（朝日大和歌壇）に掲載され、奈良保護観察所を通じて近畿地方更生保護委員会より感謝状をお受け取りになっています。ますますのご活躍を期待しています。

会 員 募 集 中

奈良県在宅保健師の会(秋篠の会)では、定年退職・その他諸事情により常勤のお仕事をされていない保健師さんで、この会の趣旨に賛同し、一緒に活動をしてくださる方を募集しています。
申し込み、お問い合わせは事務局まで。

◆ 編 集 後 記 ◆

今年度も当会事業を全て無事終了することができました。ご協力いただいた会員の皆様に深く感謝申し上げます。中でも新任保健師育成支援事業は担当して下さった会員のご努力で事故もなく好評のうちに終えることができました。ありがとうございました。この事業は在宅保健師の経験と技術を存分に発揮できる事業です。会員の皆様の積極的なご参加お待ちしております。(岡本安代)

早いもので退職して5年になります。市より介護保険被保険者証の送付があり、はっとしました。65歳は節目の年です。体とところに寄り添いながら、家庭や地域で自分のできることを続けていけたらと思います。又秋篠の会への参加がプラスとなるよう前向きな気持ちを大切にしたいと思っています。(来田正子)

2期4年間活動させていただきましたので、次の方にバトンタッチしたいと思います。秋篠の会の今後の発展のために皆様のご協力よろしくお願いいたします。(堀みさ子)

私は行政保健師として26年間勤務。その後、同職場で再任用職員として4年間従事。延べ30年間地域保健に携わりました。現在は現役を退いた後、秋篠の会の活動として、市町村の健康づくり活動支援、新任保健師の訪問指導への関わり、地域へのボランティア活動等の場で、有意義な日々を過ごしております。これまでの経験を活かしつつ、生涯学習への意欲をもちながら研鑽を重ねて参りたく思います。(山本満由美)

秋 篠 の 会 だ よ り ◆ 第 9 号 ◆

発行 奈良県在宅保健師の会(秋篠の会)
奈良県国民健康保険団体連合会
〒634-0061 橿原市大久保町302番地の1
電話 0744-29-8311(代表)

「秋篠の会」についてご意見・ご要望等ありましたら事務局までご連絡をお願いします